



# 株主通信

## Gakken

Value Report

### 第80期 中間報告書

2024年10月1日～  
2025年3月31日

#### 全国児童才能開発コンテスト

1963年(昭和38年)に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。

#### 第61回全国児童才能開発コンテスト

図画部門 低学年の部 文部科学大臣賞 作品

「ゆめのあるすし」

富山県 立山町立 立山中央小学校2年

奥井 千暁 さん

株式会社学研ホールディングス





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第80期中間期（2024年10月1日～2025年3月31日）の株主通信をお届けいたします。

2023年11月策定の中期経営計画「Gakken2025」の最終年度となる当期中間期の連結業績につきまして、売上高 988 億円（前年同期比 5.7%増）、営業利益 45 億円（前年同期比 11.7%減）、経常利益 42 億円（前年同期比 18.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益 24 億円（前年同期比 36.8%増）となりました。

教育分野における出版コンテンツ事業の好調、また、昨年9月からの株式会社桐原書店のグループインの寄与等に基づきます。他方、医療福祉分野における物価高による原価、販売管理費の増加、特に水道光熱費や食材費等の高騰の影響を受けましたが、下期では価格改定や一層の効率化施策を推進することにより、当初計画の達成に向けて、グループ一同、力強く「SHIFT」を進めてまいります。

なお、当期は資本効率の向上と株主還元の拡充を目的として総額 10 億円の自社株買いを実施いたしました。1株当たり 13 円（前年同期比 0.5 円増）の今回の中間配当とあわせて、引き続き株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

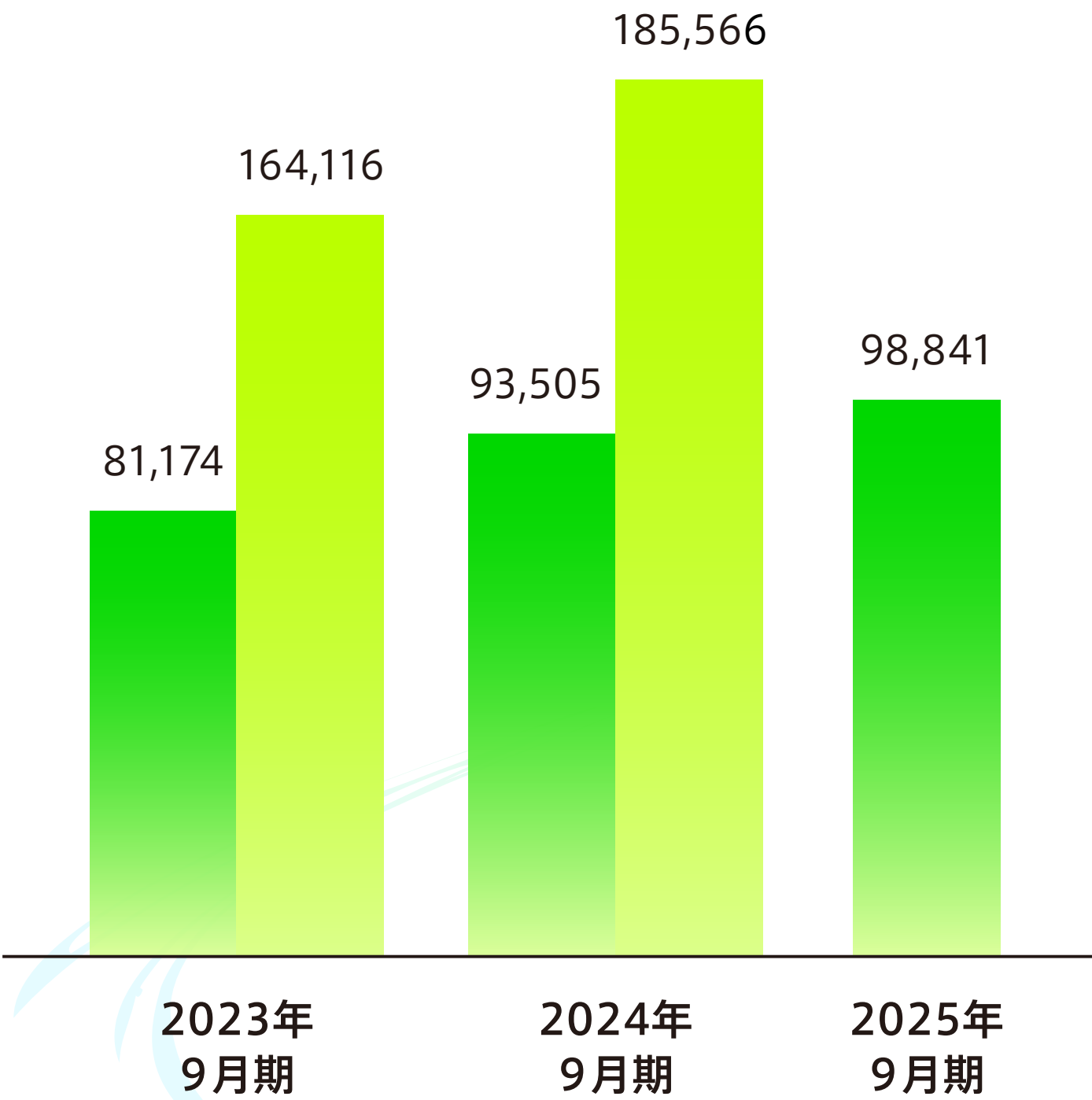
当グループは、来年 2026 年に創業 80 周年を迎えます。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。100 周年に向けて、さらに皆様と対話を深め、ともに新たな価値を創造してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 6 月

代表取締役社長 宮原博昭

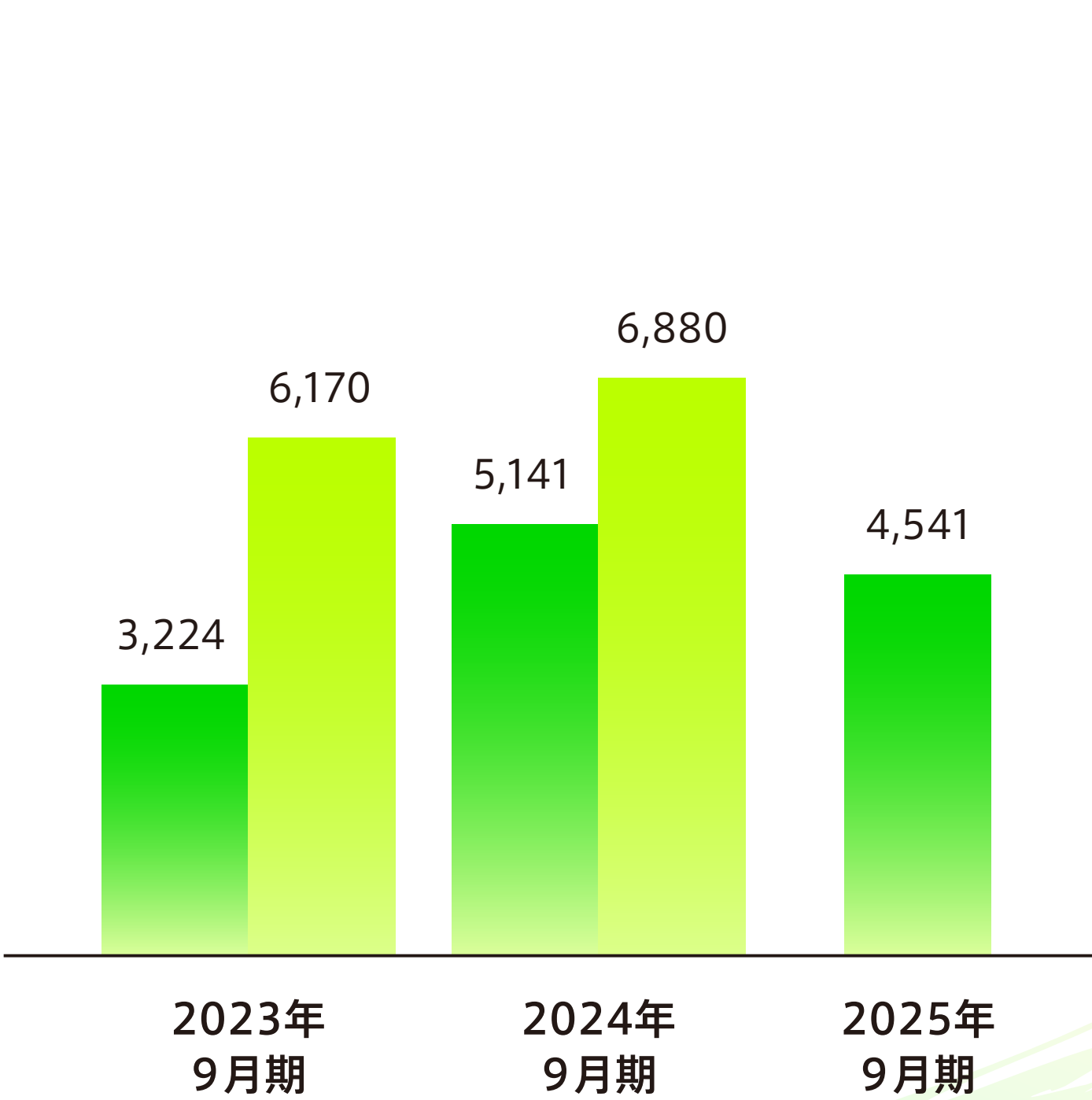
売上高

■ 第2四半期（累計） ■ 通期 (単位：百万円)



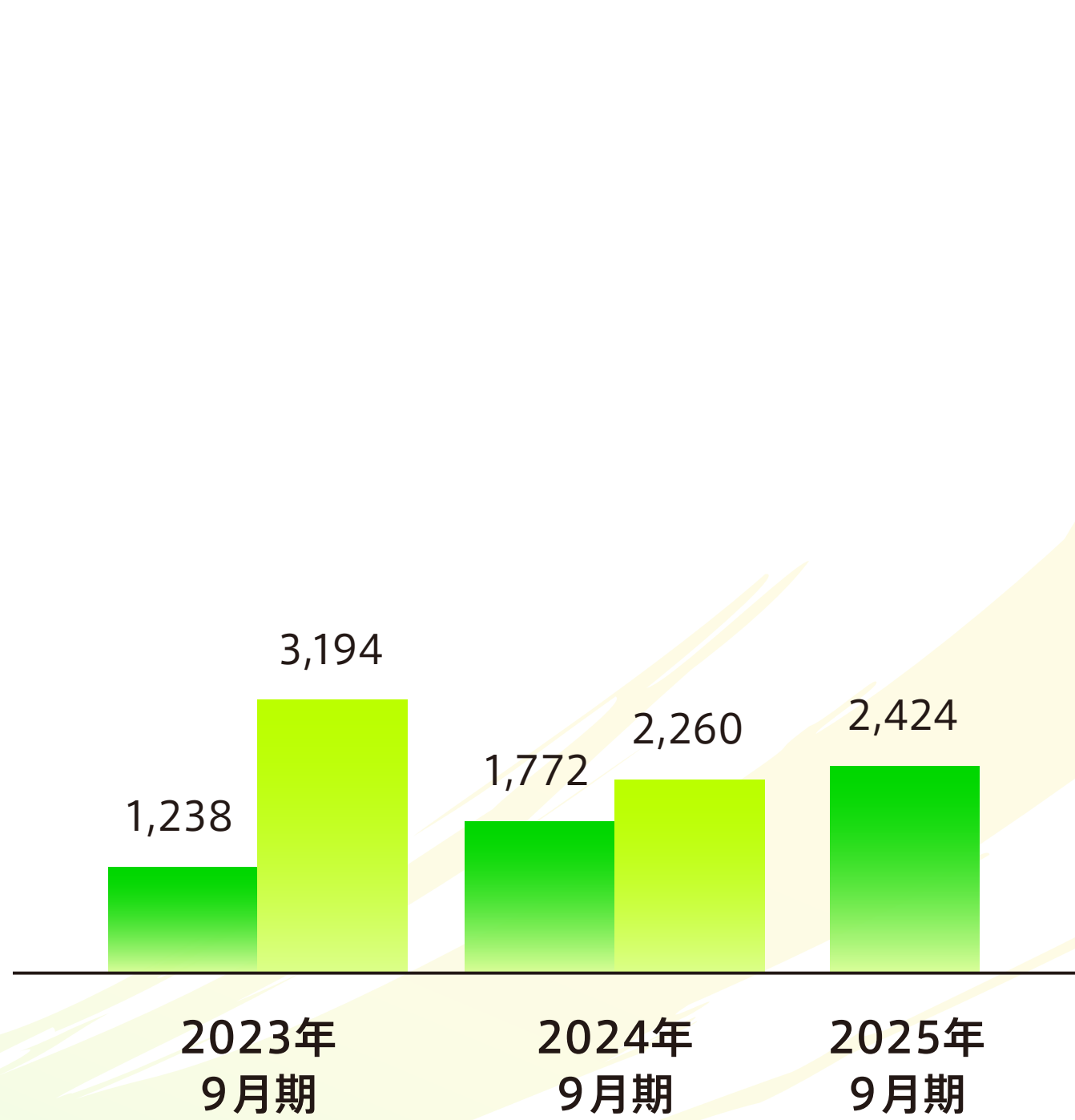
営業利益

■ 第2四半期（累計） ■ 通期 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

■ 第2四半期（累計） ■ 通期 (単位：百万円)



教育分野

売上高 49,639 百万円  
(前年同期比 3.0% 増 ▲)

営業利益 4,074 百万円  
(前年同期比 10.8% 増 ▲)

▶ 教室・塾事業

売上高 27,256 百万円 営業利益 1,638 百万円

- 教室事業…減収の中、幼児会員数増加による顧客基盤拡大、2025 年 4 月からの月謝改定等の効果により下期以降の業績改善見込み
- 塾事業…ニーズが堅調な都市圏を中心に市進ホールディングスの伸長が寄与、塾グループ全体での退塾率の低下、不採算教室への対応が奏功

▶ 出版コンテンツ事業

売上高 13,574 百万円 営業利益 1,578 百万円

- 出版事業…高校学参、語学書、実用書のヒット作創出など好調に推移、返品率も改善
- 語学・社会人教育事業…看護師向けeラーニングでの契約病院数の増加、オンライン英会話「Kimini」の受講者数増加など順調に伸張、限界利益率の高いデジタルコンテンツ事業の拡大が奏功

▶ 園・学校事業

売上高 8,808 百万円 営業利益 1,063 百万円

- 幼児事業…幼稚園・保育所数と園児の減少が継続し減収の中、経費削減努力が奏功し、黒字転換
- 学校事業…桐原書店のグループインが増収に寄与するも全体として減益

医療福祉分野

売上高 46,329 百万円  
(前年同期比 9.9% 増 ▲)

営業利益 1,310 百万円  
(前年同期比 37.8% 減 ▼)

▶ 高齢者住宅事業

売上高 22,385 百万円 営業利益 599 百万円

- 高水準の入居率維持の継続に加え、新規開設1棟当たりの戸数増加など高騰する建築費の影響を低減するための取組みのもと、新規開設数は堅調に推移し増収基調。他方、水道光熱費、食材費や消耗品費等の高騰の影響を受け減益。2025 年 3 月からの価格改定に加え業務効率化によるコスト削減や入居数の早期拡大に取組み等により、下半期の営業利益は大幅に回復見込み

▶ 認知症グループホーム事業

売上高 19,937 百万円 営業利益 918 百万円

- 建築費上昇により新規出店が難しい環境下、継続して新規開設、拠点数拡大に加え、既存入居率 97% 超と高水準維持により増収も、水道光熱費や食材費等の高騰の影響が大きく減益。なお、2025 年 2 月より原価上昇分の価格改定を段階的に進め、コスト削減、利益改善に向けた取組み等により、下半期の営業利益は大幅に回復見込み

▶ 子育て支援事業

売上高 4,006 百万円 営業利益 113 百万円

- 保育園の定員充足率の高水準維持に加え、学童・児童発達支援施設の安定的な運営が寄与し増収。園児数の増加に加え運営効率化施策の推進等により増益

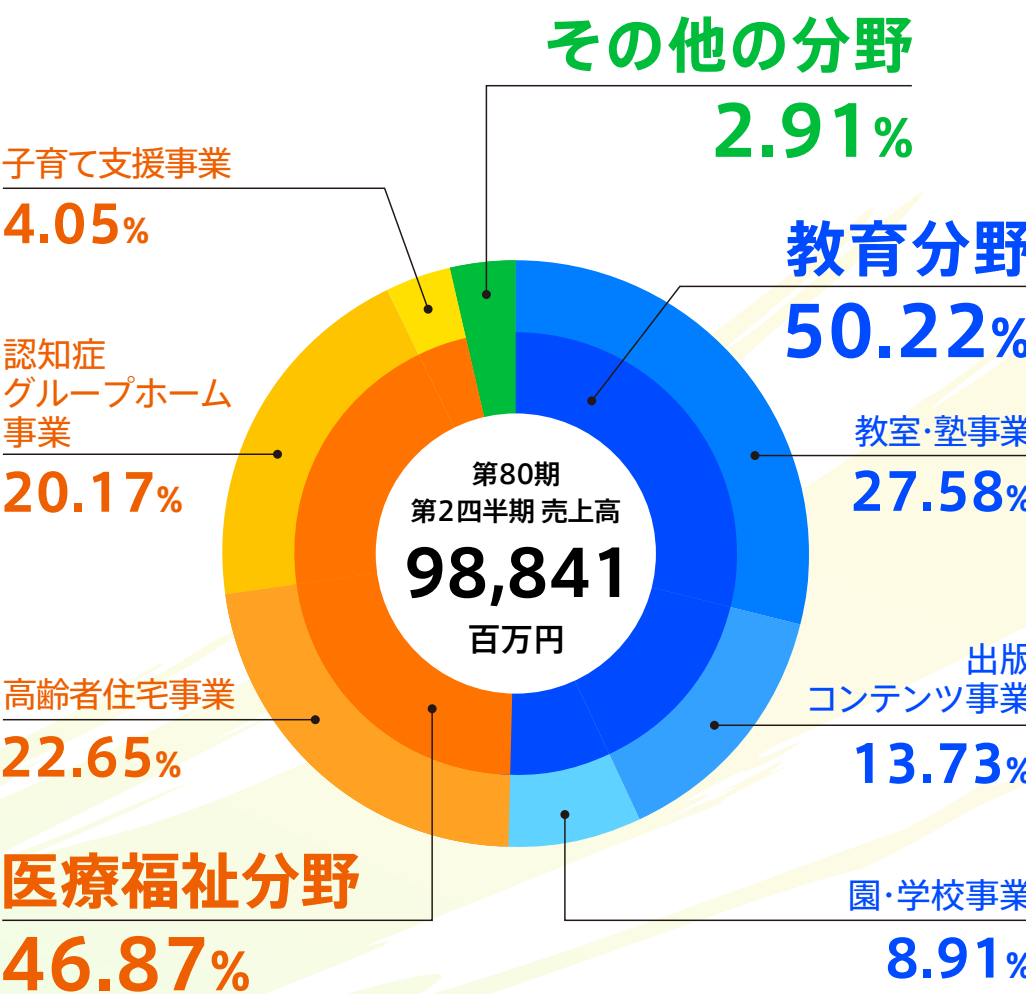
その他の分野

売上高 2,872 百万円  
(前年同期比 9.7% 減 ▼)

営業利益 253 百万円  
(前年同期比 10.4% 減 ▼)

- グローバル事業での東南アジア、中国市場への継続投資を進める中、新興国向け ODA や民間企業の海外進出支援事業での受注減により減収。積極的な人員強化や投資活動によりコストが増加し減益

売上高構成比



## Topics – 1

レアジョブとの提携で加速する、  
顧客体験の質的向上

2024年11月に株式会社レアジョブと資本業務提携を締結し、2025年1月には同社を持分法適用会社としました。現在、オンライン英語事業向け・法人向け英語事業、学校教育ALT派遣、資格取得支援、テクノロジーの5領域で分科会を設け、実務レベルでの連携を進めています。中でも資格取得支援領域では、資本業務提携からわずか4か月でサービスの拡充やキャンペーン展開を実現しました。両社のリソースと専門性を掛け合わせ、多様な利用者に対して高品質なサービスの提供が進んでいます。語学を軸とした『より良い顧客体験の提供』に引き続きご注目ください。

## Topics – 2

桐原書店のグループインにより  
語学事業など提供サービスの拡充へ

英語・国語の高等学校向け教科書・副教材などを手掛ける株式会社桐原書店が、2024年9月にグループインしました。同社は「英語教材のリーディングカンパニー」として高校生や先生方から高い評価を受けており、近年はデジタル教材の開発・提供にも注力するなど、新たな学習ニーズへの対応を進めています。今後は、同じ出版事業を手掛ける株式会社Gakkenを始めとしたグループ各社と連携し、紙だけでなくデジタル領域でも新たな価値創出を目指して提供サービスの拡充を図ってまいります。



## Topics – 3

保育イノベーション  
コンソーシアム始動

株式会社学研ホールディングスは、保育業界全体の課題解決の推進に向け、2025年3月17日に設立された「保育イノベーションコンソーシアム」に参画しました。保育士不足、IT化等による保育士の負荷軽減等、保育事業環境の改善が必要な状況のもと、当コンソーシアムは、保育事業者単独では実現が困難な、保育事業者が抱える課題の解決に向けた施策を共同、連帯して実施します。現在、ライク株式会社、株式会社ニチイ学館、株式会社グローバルキッズ、ニッセイ情報テクノロジー株式会社、そして当社が参画し、次の施策の取組みを開始し、今後は社会福祉法人含む全国の保育事業者や自治体等の参加を積極的に呼びかけ、保育業界全体の持続性向上、さらなる発展につなげてまいります。

- 学研の保育用用品、幼児教室など、保育の付加価値化につながる商品やサービスの導入
- 保育士の離職防止、育成等に寄与する仕組み化

## Topics – 4

ポプラ社中国現地法人と資本業務提携、  
絵本文化を中国そして世界に拡大へ

株式会社学研ホールディングスは、2025年2月に、中国に絵本文化を根付かせたパイオニアである、株式会社ポプラ社の中国現地法人との資本業務提携に関するパートナーシップを締結しました。ポプラ社中国現地法人が長年培ったブランドやノウハウを最大限活用して、当グループの多様なコンテンツを中国市場に投入することで、中国そして世界中の子どもたちに夢や感動を届け、心豊かに生きる社会の発展に貢献します。具体的な協業分野は次のとおりです。

- 両社のコンテンツの企画・販売の連携
- 中国に特化したオリジナルコンテンツの開発
- 他社を含めた良質な日本のコンテンツ・IPの世界への展開  
両社のコンテンツ・IPを中国、そして世界へ展開するオールジャパン体制構築を推進します。



## 統合報告書 2025 を発行しました



### 学研グループの過去・現在・未来を検証・報告

2025年3月に、学研グループは『統合報告書 2025』を発行しました。

本報告書のテーマは「ダブル・マテリアリティの追求」。ダブル・マテリアリティとは、企業活動が社会や環境に与える影響と、社会や環境が企業活動に与える影響の双方を重視する考え方です。

中期経営計画「Gakken 2025」の進捗をはじめ、グローバル事業戦略や、育児休業取得者による座談会など、見どころの多い内容となっています。

本報告書が、事業・社会双方にインパクトを創出するために当グループが取り組んでいる活動への理解と共感を深めていただく一助となれば幸いです。



WEB版(PDF)は  
当社コーポレートサイトから  
ご覧いただけます

統合報告書 (PDF)  
<https://www.gakken.co.jp/ja/sustainability/rport.html>



スペシャルムービーも公開中！



学研グループの5つの重点課題について、それぞれ具体的な取り組みを、担当者自らの声でご紹介しています。ぜひご覧ください。

動画

<https://www.youtube.com/watch?v=nKgJIRLkXOMI>



### ダブル・マテリアリティの成長戦略を語る

## 副社長×常務 スペシャル対談

副社長福住と常務小早川が「ダブル・マテリアリティの成長戦略」について第2章で対談形式で語り、学研グループならではの価値創造に向けた想いと取り組みをお伝えしています。

中期経営計画「Gakken 2025」における最重要課題とは？

学研グループがトップカンパニーになるためには？

グローバル・デジタル事業の現状は？



サステナビリティ経営について、2人のキーマンが熱く語ります。

—— 常に社会課題に向き合い、信念を貫いてきた ——

教育・医療福祉という社会に欠くことのできない分野で、学研グループは挑戦を続けてきました。「社会課題の解決と自社の成長をともに目指す」というダブル・マテリアリティの考え方は、今も経営の根幹にあります。

創業の想いを今に受け継ぎながら、未来の学研グループをいかに築いていくか。対談を通じて、“学研らしさ”の本質に触れることができる内容となっています。

## 学研グループ 創業80周年について

学研グループは、2026年4月に創業80周年を迎えます。これまで支えてくださった皆様への感謝と、未来への挑戦への決意を胸に、グループ横断のプロジェクトチームを発足し、1年前となる今期からさまざまな企画を進めています。

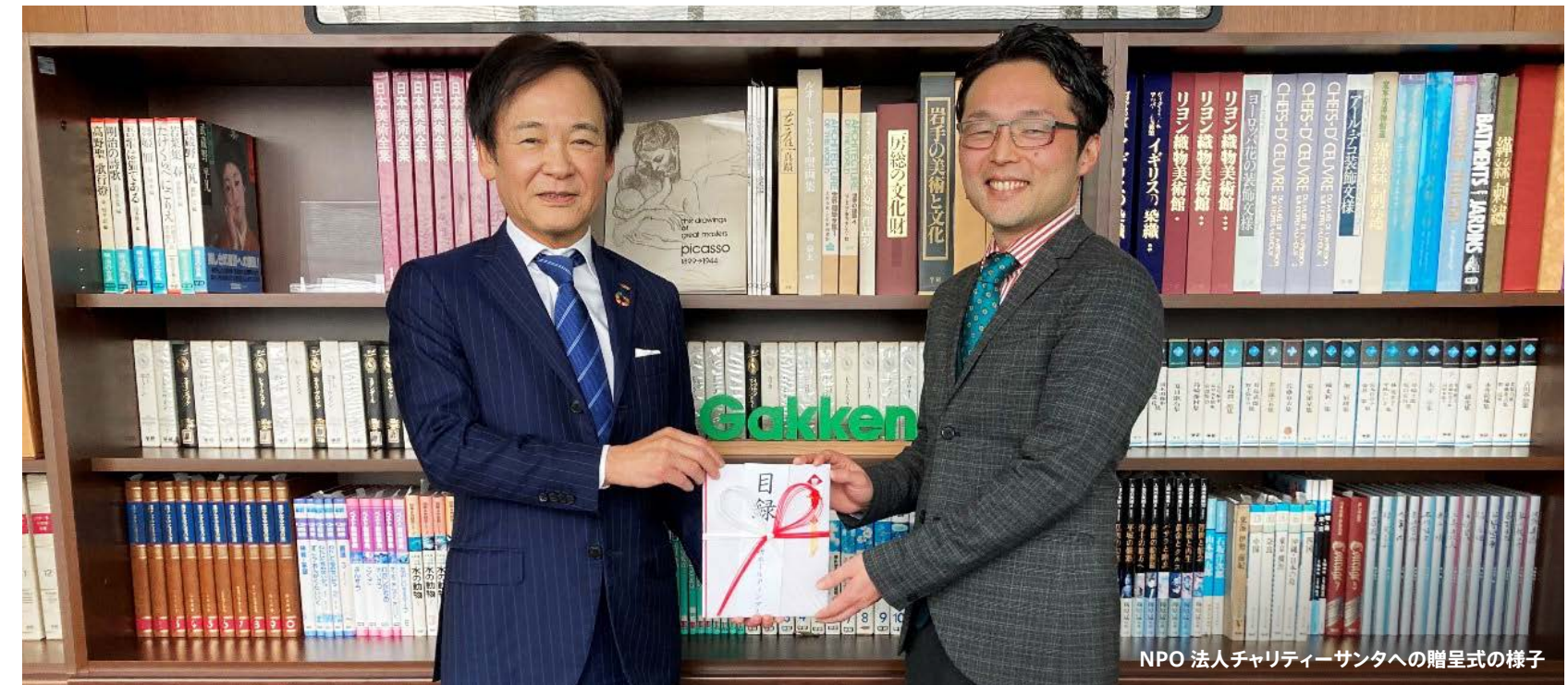
その一環として、記念ロゴと特設サイトを公開しました。社員の投票によって決定した記念ロゴは、「80」の数字をベースに、無限の広がりを象徴する“∞”と、事業と人との繋がりを表す“&”をモチーフにデザインされています。

さらに、グループ内外から広くアイデアを募る「ビジネスコンテスト」も実施予定です。教育・出版・医療福祉にとらわれず、当グループの枠を超えて、世界と日本を変える次世代ビジネスに挑んでまいります。

詳細は特設サイトをご覧ください。



<https://80th.gakken.jp/>



NPO 法人チャリティーサンタへの贈呈式の様子

## 株主優待「ちいさな寄付」を活用した寄付活動のご報告

第79期の株主優待では、優待制度の一環として株主の皆さまから寄付を募る「ちいさな寄付」を実施し、サステナビリティ経営への参加機会の創出を図りました。

本優待は2024年11月末から2025年1月末まで実施され、1,271名の株主の皆さまより、総額127万1,000円のご寄付をお寄せいただきました。お預かりした寄付金は、以下の3団体へ寄付させていただきましたことをご報告します。

### 1. NPO法人 チャリティーサンタ

**活動内容:**生活困窮・病気・被災などにより体験格差を抱える子どもたちに本を届ける活動

**寄付金額:**88万5,000円

<https://www.charity-santa.com/>



### 2. 公益財団法人 古岡奨学会

**活動内容:**母子家庭の高校生に対する学費の一部給付

**寄付金額:**29万2,000円

<https://www.gakken.jp/furuoka/>



### 3. 公益財団法人 才能開発教育研究財団

**活動内容:**子どもたちの教育および才能開発支援

**寄付金額:**9万4,000円

<https://sainou.or.jp/>



今後も当グループは、教育や才能の開発、文化の普及などを通じ、未来を担う子どもたちを多方面から支援するサステナビリティ経営を推進してまいります。

会社概要

商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	1947年3月31日
資本金	19,817,453,638円
本店所在地	〒141-8510 東京都品川区西五反田二丁目11番8号
電話番号	TEL. 03-6431-1001(代表)
ホームページ	<a href="https://www.gakken.co.jp">https://www.gakken.co.jp</a>

株主メモ

事業年度	毎年10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 <a href="https://www.gakken.co.jp">https://www.gakken.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式についてのお問合せ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部



0120-232-711

オペレータ対応 受付時間 平日のみ 9:00～17:00

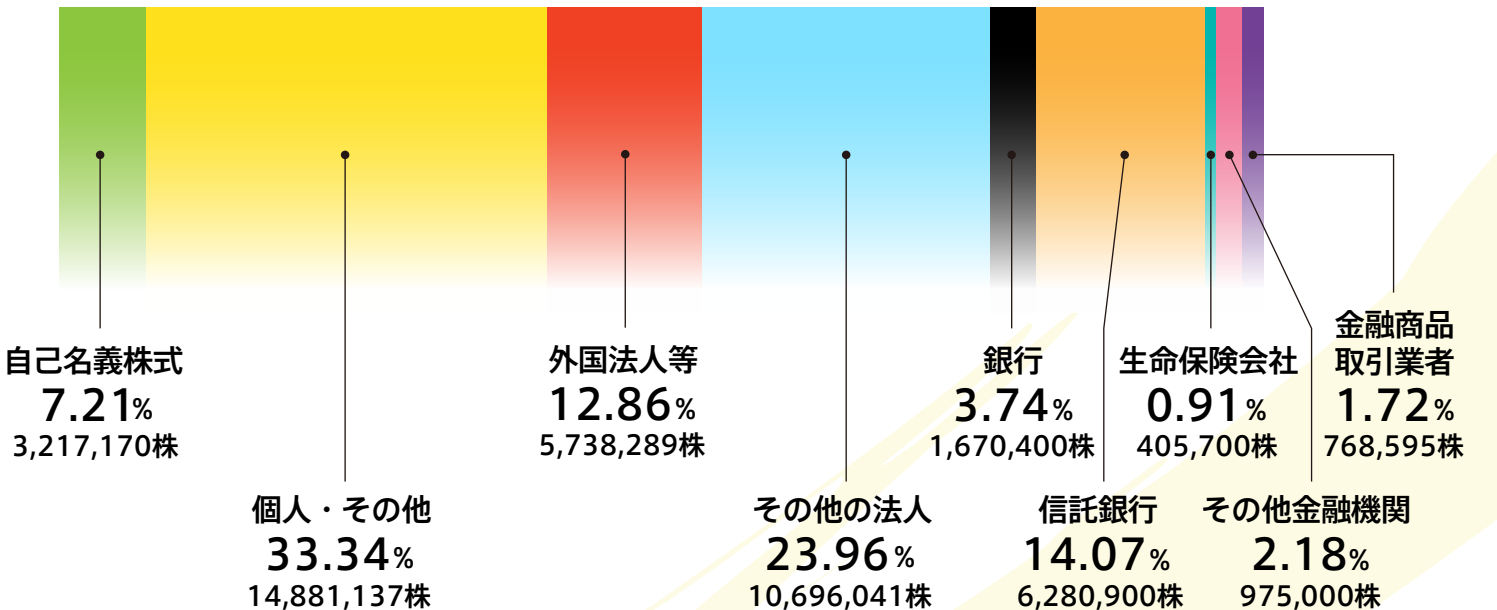
取締役・監査役・執行役員




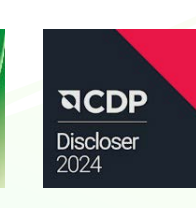






役職名	氏名	役職名	氏名
代表取締役社長	宮原 博昭	常務執行役員	勝野 哲也
取締役副社長	福住 一彦	上席執行役員	荻原 俊平
取締役常務執行役員	小早川 仁	上席執行役員	小林 徹
取締役上席執行役員	安達 快伸	上席執行役員	澤田 隆司
取締役上席執行役員	五郎丸 徹	上席執行役員	Vo Dai Phuc
取締役上席執行役員	百田 顕児	執行役員	川端 篤
取締役上席執行役員	山本 教雄	執行役員	丸山 洋
取締役上席執行役員	細谷 仁詩	執行役員	新井 邦弘
社外取締役	山田 徳昭	執行役員	西郷 直子
社外取締役	城戸 真亜子	執行役員	清水 修
社外取締役	伊能 美和子	執行役員	谷口 正一郎
社外取締役	Caroline F. Benton	執行役員	山崎 知恵
常勤監査役	小田 耕太郎	執行役員	南條 達也
常勤監査役	藤島 拓也	執行役員	印 済峻
社外監査役	山田 敏章		
社外監査役	松浦 竜人		

株式の状況

発行可能株式総数	159,665,600 株
発行済み株式総数	44,633,232 株
株主数	32,978 名

所有者別株式分布状況





Gakken  
学研ホールディングス